

お買い物を通じた環境・社会貢献

社会・地域に
イイこと、
プラス。

ユニーのお店でお買い物をする事でお客様が社会貢献活動に自然と参加できる、エシカルなお買い物の仕組みを実践しています。ユニーとメーカーが共同でお買い上げに応じた寄付をする「ドネーション企画」は、お客様の思いを自然保護や社会貢献に役立て、メーカーと消費者をつなぎます。

盲導犬育成「ワンステップ」

ユニー各売り場での日清ペットフード商品の売り上げの一部をお客様に代わり「認定NPO法人全国盲導犬協会施設連合会」に43万8千円を寄付させていただきました。また店頭でパトラッシュ募金箱を設置し、お客様から300万2千円の寄付が集まりました。



ワンステップポスター



感謝状を受け取る佐古社長



パトラッシュ募金箱

AGF ブレンディの森自然体験

AGFが管理する「ブレンディの森鈴鹿」でお客様と森の散策や丸太切り体験を通して、森と生活に欠かすことのできない水の大切さを学びました。



森の中を散策する参加者

日本ハム 自然体験ツアー

日本ハム商品をキャンペーン期間中にお買い上げいただいたお客様を招待し、親子で楽しむ夏休み自然探検イベントを開催しました。大自然の中で参加者は「火おこし」や「森の渓流探検」を体験しました。



参加者の皆さん

「エコとくお買い物券」プレゼント企画

家庭で不要になった衣料品や羽毛布団を回収し、リサイクルしています。衣料品・羽毛布団をお持ちいただいたお客様に割引券として使用できる「エコとくお買い物券」を差し上げています。1枚の使用で割引金額の1%をユニーから緑化活動などに寄付しています。



エコとくお買い物券

◆エコとくお買い物券使用実績と寄付金額

	使用枚数合計(枚)	寄付単位(円)	寄付金(円)	寄付先
2016年 上期	275,332	3	840,000	公益財団法人 Save Earth Foundation
	10,340	1		
2016年 下期	231,603	3	730,000	
	28,656	1		

◆羽毛布団リサイクルで熊野古道保全活動

ユニーの寝具取り扱い全店にて、家庭で不要になった羽毛布団の下取り回収を行い、羽毛をリサイクルする取り組みを実施しました。この下取り収益金と、回収枚数に応じて配布した円引き券利用1枚につき円引金額の1%を積み立て、熊野古道をはじめとする世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の環境保全に役立てる取り組みを行いました。

多くのお客様のご協力により和歌山県世界遺産協議会(和歌山県)へ100万円、東紀州地域振興公社(三重県)へ50万円を寄付し、熊野古道伊勢路保全活動体験ツアーや参詣道保全活動(道普請 みちぶしん)等に活用していただきます。

また、羽毛布団はエコランド有限会社(三重県明和町)へ回収され、河田フェザー株式会社(三重県明和町)が洗浄し、再生した羽毛を「グリーンダウン」としてリサイクルします。これにより羽毛の安定供給、環境保全(資源の有効活用、焼却処分にとまなうCO₂の排出抑制)などに貢献します。



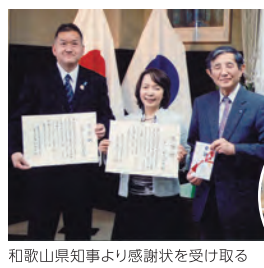
羽毛布団をリサイクルした商品



参加者の皆さん

三重県知事に目録を渡す百瀬CSR部長

「タコ」と呼ばれる専用の道具で道をならしました



和歌山県知事より感謝状を受け取る百瀬CSR部長



道普請を行った皆さん

保全活動を行う子ども達



エシカルなお買い物

ユニーの店舗では「フェアトレードマーク」の付いた商品を取り扱っています。これらは開発途上国などで生産された商品を適正な価格で取引されています。また、このマークは立場の弱い生産者の生活改善や自立、生産地の環境保全なども確認され保証されたマークです。ユニーではフェアトレード商品を販売し、支援しています。



フェアトレード商品

◆フェアトレードフェスティバルを開催

2013年から毎年、名古屋市内の店舗を舞台にフェアトレード名古屋ネットワークや名古屋市、学生ボランティアとの協力でフェアトレードフェスティバルを開催しています。2017年はヒルズウォーク徳重ガーデンズを会場にイベントを行いました。イベントではNPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク代表の原田さとみさんの講演を始め、一般社団法人エシカル協会代表理事の末吉里花さんのエシカルについての講演、学生によるフェアトレードクイズ大会などを行いました。ユニーはフェアトレード商品を品揃え・販売することで、お客様はその商品を選んで購入することで、生産地の子ども達を助けるフェアトレードを支援できることを伝えました。こうしたイベントを今後も開催していきます。



一般社団法人エシカル協会
代表理事 末吉 里花さんの講演



説明をする高校生

●参加団体

名古屋市、NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク、FTSN中部、名古屋外国語大学ボランティアサークル LinkS、珈琲工房ひぐち、名古屋高校生国際ボランティア団体どえりゃあWings、九鬼産業、愛知県立南陽高校 Nanyo Company部、ユニーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社



責任あるお買い物でフェアなトレードを

「フェアトレード」は、身近なお買い物で世界の貧困問題を解決します。途上国や弱い立場の人々に仕事を生み出し、森林伐採や土壌汚染など環境破壊からも地球を守ります。フェアトレードを街ぐるみで応援するのが「フェアトレードタウン運動」。2015年にフェアトレードタウンに認定された名古屋市では、「市民一人ひとりの買物を通じて、街ぐるみでフェアトレードを推進し、地域の絆を深めます。」と宣言しました。タウン運動は、遠い途上国への支援活動と同時に、自分たちの足元を見つめ直すきっかけとなり、地元の課題解決にもつながっています。地産地消・地域活性化など、地域に貢献するフェア(公正)を目指しています。自然に対しても、地球に対しても、地域に対してもフェアでありたいの思いから、名古屋ではフェアトレードの理念を広くとらえた”地球とのフェアトレード”をテーマに、地域に根ざした活動で、交流の促進や賑わいの創出にもつながっています。



NPO法人フェアトレード
名古屋ネットワーク
代表理事
原田 さとみさん



フェアトレードなお買い物

ユニーでは今期、ベン&ジェリーズアイスクリームの取り扱いを開始しました。昨今フェアトレードやオーガニックなど栽培方法や土壌・水質、生産者やそこに棲む生き物達に配慮した商品が増えてきています。我々は商品を購入することで簡単に環境問題に取り組む事ができるのです。遠い国のことでは無く、身近なところでは佐渡のトキを守ることに繋がる…そう考え今後も環境に配慮した商品の品揃えを行って参ります。



営業統括本部
食品部 ドライ食品部長
竹之内 栄生



◆AJU自立の家・車いすセンター、小牧ワイナリーの支援

1982年より支援を続けている「AJU自立の家・車いすセンター」に、2016年度は従業員からの募金60万円を寄付しました。また、障がい者就労支援施設で栽培したブドウを醸造したワインを店舗で販売しています。ユニーはこれからもワインの販売を継続し、消費者に購入いただくことで支援を続けます。



AJU車いすセンターの皆さんと佐古社長

◆10月1日 コーヒーの日イベント開催

日頃親しんでいるコーヒーは、日本ではほとんど栽培されず、海外から輸入している作物です。コーヒーはどのような環境で栽培され、加工・輸送されて私達のもとに届くのかをほとんどの消費者は知りません。ただ、生産国は途上国が多く、消費は先進国であるということ。また生産地は「生物多様性ホットスポット」(絶滅が心配されている生き物が多く生息する地域)と重なっています。リーフウォーク稲沢では、店内でコーヒーを提供している専門店が協同で、美味しいコーヒーと地球環境のつながりをお客様に伝えるイベントを開催しました。



スターバックスの環境紙芝居



カルディーによるバリスタ教室



「小牧城信長ワイン」をリリース

「小牧ワイナリー」は2015年5月1日にオープン。障がいのある方の就労を支援し、地域で自立した生活を送ることを目標としています。現在35名の障がい当事者が畑作業に汗を流し、また接客、発送などの仕事に携わっています。2017年には新作ワインとして、「小牧城信長ワイン」をリリース。新たな小牧の名産品として、皆さまに愛される商品となるよう、これからも障がいのある方と共に丁寧に葡萄を育て、品質の向上に努めます。



小牧ワイナリー
川原 健博さん

被災地支援活動・防災活動

日本列島は地震や津波、異常気象による大雨や突風などで、各地に甚大な被害をもたらされています。ユニーは被災地の方々への支援活動として、お買い物を通じたお客様からの善意をお届けしました。

災害被災地の子ども達に笑顔を贈る活動

◆ドネーション企画

東日本大震災から6年目の春、まだ生まれたばかりだった子ども達は小学生になりました。もっと幼い子ども達は震災を知りません。まだまだ復興が進んでいない地域では、子ども達の居場所や遊ぶ玩具、絵本が十分ではありません。そうした子ども達に、お買い上げに応じて寄付金を拠出するドネーション企画を2012年から実施しています。お客様の気持ちを被災地の子ども達にお届けする活動です。

◆未来に心がつながる！絵本プロジェクト

2012年から花王との協働で、東日本大地震の子ども達に「本棚いっぱいの絵本」を贈っています。2016年3月22日～4月25日までの期間中に、花王の「いっしょにeco」マーク商品をお買い上げ1点につき1円の寄付による総額108万円で保育園・幼稚園・小学校・みんなの家15ヶ所に897冊の絵本を贈りました。



絵本を読むのが大好き 宮城県山元町つばめの社保育園

◆ハーゲンダッツアイスクリームで玩具をプレゼント

2015年からハーゲンダッツとの協働で、2016年12月1ヶ月間に、アイスクリームお買い上げ1点につき1円の寄付金31万円により、宮城県の保育園とみんなの家、熊本県の子育て支援施設に、玩具とアイスクリームを贈りました。子ども達は大好きな玩具を抱きしめて遊んでいます。



熊本県御船子育て談話室



うれしいね!おもちゃがたくさん

◆子ども達の夢をかなえる「みちのく未来基金」

2012年から10年間、東日本大震災で親を亡くした子ども達の進学を支援することを決め、みちのく未来基金に参加しています。2016年度には99人の高校生が希望の道を歩み始めました。



「門出の会、旅立ちの会」

◆ベルマークを集めて文具を贈る

2012年からユニーとお客様で、2014年からはユニーグループの従業員も一緒にベルマークを集め、東日本大地震被災地の子ども達に文具を贈っています。2017年1月7日から2月14日の期間で65万点が集まり、寄贈しました。



ベルマークを寄贈するキリンビバレッジとユニー

◆クリスマスチャリティーで玩具を贈る

毎年クリスマスに愛知県のリーフウォーク稲沢で、名古屋コミュニケーションアートで音楽を学ぶ学生がチャリティーコンサートを開き、その寄付金で岩手県陸前高田の保育園に玩具を贈りました。



岩手県陸前高田市竹駒保育園

災害訓練活動

近年、東日本大震災や熊本地震、その他の地方でも地震や大雨などの大災害が起き、各地に甚大な被害を及ぼしています。こうした自然災害に備えて、店舗や本社では防災訓練を行っています。

◆あそぼうさい

(ヒルズウォーク徳重:名古屋市、リーフウォーク稲沢:愛知県)

地震や台風、大雨などの自然災害に備えて、子ども達が自分の命を守るための行動を、楽しく遊びを通して体験するイベントを、名古屋に本部のある災害支援NPOレスキューストックヤードの主催で店舗で開催しました。地元自治体やNPO、市民ボランティアの協力で、買い物にいられたお客様や学校や保育園のチラシを見て来た親子で会場は満員でした。



電気が来ない...自分でつくろう



あそぼうさい(ヒルズウォーク徳重)



炊き出し訓練(リーフウォーク稲沢)

◆本社「緊急対策本部」実働訓練を実施

「震災など大きな災害が発生した時の緊急対策本部立ち上げ、実働を理解し、速やかな復旧対応に繋げる。」を目的に、いざという時に、緊急対策本部メンバーは何を行う必要があるかを確認し、シミュレーションを実施しました。



緊急対策本部立ち上げ訓練

緊急時の電源確認

◆九州北部豪雨災害義援金

ユニー・ファミリーマートホールディングスの従業員とお客様からの義援金4,138万円を日本赤十字に寄託しました。



九州北部豪雨災害義援金



Voice 防災を子ども達と楽しく学ばせたい

「いつ来てもおかしくない地震に向けて備えよう」と、いたるところで叫ばれています。特に次代を担う子ども達への防災教育は重要ですが、まずはどう関心を持ってもらうかが難問です。そこで取り組んだのが、「あそぼうさい・まなぼうさい」です。しっかしは2つ。1つは「開催場所」。特別に防災を意識せず、普段買い物に立ち寄る大型ショッピングセンターをターゲットに、今回ヒルズウォーク徳重ガーデンが快くお引き受けくださいました。2つ目は「楽しく学ぶ」こと。暗室で危ないものを踏まずに懐中電灯で笛を見つけて吹くという「まっくら体験」など。こうした取り組みを今後もユニーのご協力により推進していきたいと思っています。



認定NPO法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田 暢之さん

地域貢献活動

ユニーの店舗は「地域のコミュニティセンター」として、公職選挙の投票所や地域イベント開催、ボランティア活動の拠点など「地域活動の場」の提供や、活動を推進しています。また、店舗の外に出て、公共施設や講演などで環境啓発活動や地域支援活動を行っています。

お店は地域のコミュニティセンター

◆クリーンキャンペーン

ユニーでは毎日店舗周辺の清掃活動を行っていますが、6月と10月の環境月間には、子ども達の通学路や公園、遊歩道など、範囲を広げて一斉清掃を行っています。本社ではグループ会社も参加して地域の美化に努めています。



店舗周辺の清掃



ピアゴ白山店 クリーンキャンペーン ごみゼロ運動いざわを本社で実施



◆アピタ高森に「指定投票所」を設置(長野県下伊那郡高森町)

2016年7月の衆議院選挙に続き、今回は高森町議会議員一般選挙の「指定投票所」が設置されました。いつもお買い物に行く店舗にある投票所ということで、投票者数が伸び、期日前投票で190%、当日投票では211%と前回は大幅に上回りました。



◆静岡市ごみリサイクル展をアピタ静岡で開催(静岡県静岡市)

アピタ静岡店で「市民にごみ減量化・資源化」の啓発イベントを開催しました。市内廃棄物処理事業者の皆さんの協力のもと、エコ工作やガールスカウトの「4Rイベント」市内小学生の「ごみ減量・4R推進ポスター」の展示などで、楽しみながらエコ活動に参加していただきました。



◆リーフウォークで健康フェア(愛知県稲沢市)

ユニーグループ健保組合と稲沢市、全国健康保険協会との協働で、稲沢市民の皆さんと「健康フェア」を開催しました。お買い物のついでに、参加者は自分の身体の状態を知り、生活習慣病などを予防して、さらに健康増進するための食事や運動のアドバイスを受けました。



◆けやきウォーク前橋で「前橋歴史パネル展」開催(群馬県前橋市)

前橋の「歴史」「人」「文化」をテーマに、各方面からの協力を得て、過去の貴重な資料をパネルにして展示し、地元前橋の魅力を再発見していただくイベントです。前橋は「水と緑と歌のまち」というキャッチフレーズですが、このパネル展を見ていただくとうかがわれます。



地元の自治体と協働で環境啓発活動

◆大垣市環境フェスティバル(岐阜県大垣市)

大垣市環境市民会議主催の環境イベントで、古くから湧水の都と呼ばれ、水とともに地域環境を大切にする市民・企業・行政が協働で開催しています。ユニーは子ども達に地域環境を守ることが地球を守ることにつながると、クイズやエコ工作、紙芝居などで楽しく伝えました。



◆環境デーなごや(愛知県名古屋市)

名古屋市と企業、市民団体が共同で、楽しく環境について学んだり体験を通して、生活をエコにする啓発イベントです。名古屋市は環境に関心のある市民が多く、ユニーの環境紙芝居には、小さなお子さんから高齢者まで、たくさんの方が集まりました。



◆メッセナゴヤ2016 環境展示会

名古屋商工会議所主催の環境をテーマにした展示会メッセナゴヤに、ユニーは地球温暖化防止をテーマに出展しました。国の進めるCOOL CHOICE(賢い選択)をお買い物での商品選びや、3R行動で実践することで、CO₂を削減できることを、たくさんの方に知っていただきました。



◆東海三県一市グリーン購入キャンペーン

2002年から始まったこのキャンペーンも、2016年で15回目になりました。初めは容器包装をできるだけ廃棄しない「容器詰め替え商品」の購入促進を消費者に啓発することを目的に実施していました。その後、使用済み容器包装のリサイクルや、商品そのものがリサイクル資源を利用して製造されたものを紹介する活動を実施しました。15年目の活動は、「お買い物でCOOL CHOICE」賢い選択で、持続可能な社会を目指す購買行動を提案しました。たとえば、レジ袋を使わないこと、地産地消の野菜や食品を食べること、飲み終わったペットボトルをリサイクル回収に持ってくること。毎日の小さな積み重ねが未来の地球を守ることを伝えました。



アピタ港店(名古屋市)



アピタ薬名店(三重県)



リーフウォーク稲沢(愛知県)



アピタ御高店(岐阜県)



東海三県一市グリーン購入キャンペーンポスター